



## 2023年3月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

2023年2月3日

上場会社名 ウシオ電機株式会社

上場取引所 東

コード番号 6925 URL <https://www.ushio.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 内藤 宏治

問合せ先責任者 (役職名) 経理財務部長 (氏名) 瀧澤 秀明

TEL 03-5657-1000

四半期報告書提出予定日 2023年2月10日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

### 1. 2023年3月期第3四半期の連結業績(2022年4月1日～2022年12月31日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第3四半期	128,362	17.0	13,527	25.2	18,039	43.6	12,078	18.6
2022年3月期第3四半期	109,714	33.1	10,807		12,562	641.5	10,187	

(注) 包括利益 2023年3月期第3四半期 14,764百万円 (13.8%) 2022年3月期第3四半期 17,135百万円 (829.1%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第3四半期	101.81	
2022年3月期第3四半期	84.48	

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年3月期第3四半期	317,768	239,022	75.2
2022年3月期	321,096	235,202	73.2

(参考) 自己資本 2023年3月期第3四半期 238,934百万円 2022年3月期 235,118百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期				50.00	50.00
2023年3月期					
2023年3月期(予想)				50.00	50.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2023年3月期の連結業績予想(2022年4月1日～2023年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	170,000	14.2	15,000	14.8	19,500	28.3	13,000	3.1	109.78

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

## 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- |                    |     |
|--------------------|-----|
| 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 有 |
| 以外の会計方針の変更         | : 無 |
| 会計上の見積りの変更         | : 無 |
| 修正再表示              | : 無 |

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2023年3月期3Q	127,000,000 株	2022年3月期	127,000,000 株
期末自己株式数	2023年3月期3Q	9,323,080 株	2022年3月期	6,409,833 株
期中平均株式数(四半期累計)	2023年3月期3Q	118,635,701 株	2022年3月期3Q	120,585,588 株

(注)株主資本において自己株式として計上されている信託に残存する自社の株式については、自己株式に含めて記載しております。

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

### 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、業績予想に関する事項は、添付資料3ページをご参照ください。

(決算補足説明資料の入手方法について)

決算説明資料は2023年2月3日(金)に当社ウェブサイトに掲載いたします。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8
(会計方針の変更) .....	8
(セグメント情報) .....	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における当社グループの事業環境は、ロシア・ウクライナ情勢等の影響によるエネルギー・原材料価格の上昇、欧米におけるインフレ加速に伴う政策金利の引き上げの継続などにより景気の減速がみられ、また中国のゼロコロナ政策や、米中の貿易摩擦激化など先行き不透明な状況が続いています。

このような環境のもと、半導体・電子デバイス・プリント基板市場においては、5Gの実用化やI o T・A Iの活用進展により生産の稼働は高水準で推移し、設備投資は好調であった一方で、フラットパネルディスプレイ市場ではモバイルやモニター向けなどの液晶パネル需要の一巡に伴い、液晶パネルメーカー各社では在庫調整のための稼働の引き下げが続いています。また、映像関連市場においては、ゼロコロナ政策を実施してきた中国市場を除き、世界全般で映画館の営業再開や稼働の回復が進みました。

当第3四半期連結累計期間の平均為替レートは、米ドルが前第3四半期連結累計期間に比べ、25円円安の136円となりました。

その結果、当第3四半期連結累計期間における売上高は1,283億6千2百万円（前年同期比17.0%増）、営業利益は135億2千7百万円（前年同期比25.2%増）、経常利益は180億3千9百万円（前年同期比43.6%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は120億7千8百万円（前年同期比18.6%増）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

#### (光源事業)

##### [放電ランプ]

露光用UVランプについては、為替の円安による増収効果に加え、5Gの実用化やI o T・A Iの活用進展などを背景とした半導体や電子デバイス向け需要が堅調に推移したものの、液晶パネルディスプレイ向け需要がパネルメーカー各社の生産調整に伴い減少し、UVランプ全体で減収となりました。

シネマプロジェクター用クセノンランプについては、中国でのゼロコロナ政策による行動制限継続の影響を受けつつも、全世界的に映画館の営業再開や稼働の回復が進んだことから、リプレイスランプの販売が増加しました。その結果、放電ランプ全体としては、前年同期比で増収となりました。

##### [ハロゲンランプ]

OA用ハロゲンランプについては、セットメーカーの部材不足問題の解消が進みOA機器需要が回復したことから、販売が増加しました。また、半導体市場活況の動きに伴い、半導体製造工程で使用される熱処理用ランプの販売が増加しました。その結果、ハロゲンランプは、前年同期比で増収となりました。

また、主に欧米市場向けに複数用途で販売していたナトリウムランプにて、急速な固体光源化の影響を背景にランプ需要が縮小し、棚卸資産の評価損が発生しました。

以上の結果、光源事業の売上高は475億5千9百万円（前年同期比9.9%増）、セグメント利益は72億4千7百万円（前年同期比3.6%増）を計上いたしました。

#### (光学装置事業)

半導体・電子デバイス・プリント基板市場においては、5Gの実用化やI o T・A I進展に伴うデータセンター向けサーバー需要等の高まりが継続していることから、最先端ICパッケージ基板向け分割投影露光装置、パッケージ・プリント基板向け直描式露光装置の販売が増加しました。一方で、液晶パネル需要が一巡したことにより関連する設備投資が縮小し、液晶パネル向け装置の販売は減少しました。また、EUVリソグラフィマスク検査用EUV光源については、前期以前に販売した光源の稼働が好調に推移したことから保守メンテナンスの販売は増加したものの、光源の販売は需要の一時的な調整局面にあり減少しました。

以上の結果、光学装置事業の売上高は416億3千9百万円（前年同期比17.7%増）、セグメント利益は62億8千5百万円（前年同期比78.4%増）を計上いたしました。

## (映像装置事業)

シネマ分野では、欧米を中心に映画館の営業再開や稼働の回復が進み、設備投資需要も回復傾向にあるなかで、半導体等の部材不足の影響を受け、デジタルシネマプロジェクターの販売は減少しましたが、為替の円安効果により増収となりました。一般映像分野においては、イベント等の再開の動きなどにより北米市場を中心に需要の回復が進み映像関連製品の販売が増加したことや、為替の円安効果により増収となりました。一方で、映像装置事業全体で、部材不足問題が長期化していることから、部材調達コストが増加傾向にあります。

以上の結果、映像装置事業の売上高は362億8千9百万円（前年同期比26.3%増）、セグメント損失は2億3千9百万円（前年同期はセグメント利益9千6百万円）を計上いたしました。

## (その他事業)

新型コロナウイルス感染症再拡大の影響から後ろ倒しとなっていた各種成型機などを中心に投資の回復が進み、販売が増加しました。

以上の結果、売上高は29億1千6百万円（前年同期比18.1%増）、セグメント利益は1億3千8百万円（前年同期比49.2%増）を計上いたしました。

## (2) 財政状態に関する説明

## (資産)

当第3四半期連結会計期間末における総資産は、3,177億6千8百万円となり、前連結会計年度末に比べ33億2千7百万円減少いたしました。主な減少要因は、外部借入の返済、配当支払、納税及び自己株式購入等による現金及び預金の減少であります。一方、主な増加要因は、光学装置等の受注増加による棚卸資産の増加であります。

## (負債)

当第3四半期連結会計期間末における負債は、787億4千6百万円となり、前連結会計年度末に比べ71億4千7百万円減少いたしました。主な減少要因は、外部借入の返済による1年内返済予定の長期借入金の減少であります。一方、主な増加要因は、材料等の仕入増加に伴う支払手形及び買掛金の増加であります。

## (純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産は、2,390億2千2百万円となり、前連結会計年度末に比べ38億1千9百万円増加いたしました。主な増加要因は、当第3四半期連結会計期間末にかけて円安が進行したことによる為替換算調整勘定の増加及び親会社株主に帰属する四半期純利益を計上したことによる利益剰余金の増加であります。一方、主な減少要因は、配当支払による利益剰余金の減少及び自己株式の増加であります。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2023年3月期の通期の連結業績予想につきましては、当第3四半期連結累計期間の実績及び足元の状況を鑑み、2022年5月11日に公表した通期連結業績予想を修正しております。詳細につきましては、本日（2023年2月3日）公表いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

なお、当業績予想につきましては、現時点で入手可能な情報と合理的であると判断する一定の前提に基づき当社が判断した見通しであり、実際の業績は、今後の様々な要因によって異なる可能性があることをご承知おきください。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2022年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	88,687	64,242
受取手形、売掛金及び契約資産	35,292	35,775
有価証券	4,937	2,976
商品及び製品	26,169	32,479
仕掛品	20,282	25,902
原材料及び貯蔵品	18,891	24,128
その他	10,134	13,184
貸倒引当金	△2,686	△2,250
流動資産合計	201,708	196,439
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	47,161	48,159
減価償却累計額	△29,767	△30,986
建物及び構築物 (純額)	17,393	17,173
機械装置及び運搬具	27,875	28,507
減価償却累計額	△20,212	△21,115
機械装置及び運搬具 (純額)	7,662	7,391
土地	8,630	8,704
建設仮勘定	2,708	3,388
その他	41,498	43,687
減価償却累計額	△31,730	△32,492
その他 (純額)	9,768	11,195
有形固定資産合計	46,162	47,854
無形固定資産		
のれん	235	286
その他	2,755	2,849
無形固定資産合計	2,991	3,136
投資その他の資産		
投資有価証券	59,146	59,102
長期貸付金	15	19
繰延税金資産	4,135	3,928
退職給付に係る資産	5,592	5,694
その他	1,924	2,212
貸倒引当金	△580	△618
投資その他の資産合計	70,234	70,338
固定資産合計	119,388	121,329
資産合計	321,096	317,768

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2022年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	21,164	26,666
短期借入金	2,185	5,289
1年内返済予定の長期借入金	16,402	—
未払法人税等	3,828	2,716
契約負債	14,388	14,422
賞与引当金	2,699	1,294
製品保証引当金	2,597	3,295
受注損失引当金	—	1
その他	9,126	10,389
流動負債合計	72,393	64,076
固定負債		
長期借入金	—	1,410
繰延税金負債	7,823	7,392
役員退職慰労引当金	270	236
役員株式給付引当金	146	191
退職給付に係る負債	4,054	4,141
資産除去債務	302	316
その他	903	980
固定負債合計	13,500	14,669
負債合計	85,893	78,746
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	19,556	19,556
資本剰余金	27,727	27,727
利益剰余金	161,877	168,007
自己株式	△9,032	△14,029
株主資本合計	200,129	201,262
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	21,399	18,937
繰延ヘッジ損益	—	△0
為替換算調整勘定	14,186	19,084
退職給付に係る調整累計額	△598	△349
その他の包括利益累計額合計	34,988	37,672
非支配株主持分	84	88
純資産合計	235,202	239,022
負債純資産合計	321,096	317,768

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)
売上高	109,714	128,362
売上原価	69,099	80,307
売上総利益	40,615	48,055
販売費及び一般管理費	29,807	34,527
営業利益	10,807	13,527
営業外収益		
受取利息	471	1,219
受取配当金	913	1,029
為替差益	82	2,572
売買目的有価証券運用益	119	—
投資事業組合運用益	—	10
雇用調整助成金	434	—
その他	298	247
営業外収益合計	2,320	5,079
営業外費用		
支払利息	244	197
持分法による投資損失	76	57
売買目的有価証券運用損	—	15
特定金銭信託運用損	10	53
有価証券売却損	2	57
有価証券評価損	—	96
和解金	119	—
その他	111	90
営業外費用合計	565	568
経常利益	12,562	18,039
特別利益		
固定資産売却益	1,142	198
投資有価証券売却益	17	135
事業譲渡益	—	360
特別利益合計	1,160	694
特別損失		
固定資産除却損	49	53
固定資産売却損	11	0
減損損失	91	59
投資有価証券売却損	15	2
投資有価証券評価損	1	—
関係会社株式売却損	—	188
事業構造改善費用	118	316
臨時休業等による損失	151	—
特別損失合計	438	622
税金等調整前四半期純利益	13,284	18,111
法人税、住民税及び事業税	3,353	5,669
法人税等調整額	△268	367
法人税等合計	3,085	6,036
四半期純利益	10,199	12,074
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	11	△3
親会社株主に帰属する四半期純利益	10,187	12,078



(四半期連結包括利益計算書)  
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)
四半期純利益	10,199	12,074
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	2,502	△2,462
繰延ヘッジ損益	3	△0
為替換算調整勘定	3,928	4,866
退職給付に係る調整額	522	248
持分法適用会社に対する持分相当額	△20	37
その他の包括利益合計	6,936	2,690
四半期包括利益	17,135	14,764
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	17,121	14,761
非支配株主に係る四半期包括利益	13	3

## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

(時価の算定に関する会計基準の適用指針の適用)

「時価の算定に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第31号 2021年6月17日。以下「時価算定会計基準適用指針」という。)を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準適用指針第27-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準適用指針が定める新たな会計方針を将来にわたって適用することといたしました。これによる、四半期連結財務諸表への影響はありません。

(セグメント情報)

## I 前第3四半期連結累計期間(自2021年4月1日至2021年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	光源事業	光学装置 事業	映像装置 事業	計				
売上高								
外部顧客への売上高	43,218	35,305	28,739	107,264	2,450	109,714	—	109,714
セグメント間の内部 売上高又は振替高	61	71	3	137	18	155	△155	—
計	43,280	35,377	28,743	107,401	2,468	109,869	△155	109,714
セグメント利益	6,999	3,523	96	10,619	93	10,712	95	10,807

(注)1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメント及びその他収益を獲得する事業活動であり、産業機械及び資金管理活動等が含まれます。

2. 調整額は、セグメント間取引消去によるものであります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## II 当第3四半期連結累計期間(自2022年4月1日至2022年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	光源事業	光学装置 事業	映像装置 事業	計				
売上高								
外部顧客への売上高	47,550	41,629	36,286	125,465	2,897	128,362	—	128,362
セグメント間の内部 売上高又は振替高	9	10	3	23	18	42	△42	—
計	47,559	41,639	36,289	125,488	2,916	128,404	△42	128,362
セグメント利益又は 損失(△)	7,247	6,285	△239	13,294	138	13,433	94	13,527

(注)1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメント及びその他収益を獲得する事業活動であり、産業機械及び資金管理活動等が含まれます。

2. 調整額は、セグメント間取引消去によるものであります。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。